

あけのひまわりフェスティバル

ちくせいし
【茨城県筑西市】

夏

イベントタイプ：花木等鑑賞

一般参加：可



「ゴッホのひまわりを彷彿とさせる広大なひまわり畑」

8月下旬から9月上旬にかけて筑西市の明野地区で開催されている「あけのひまわりフェスティバル」は、あのゴッホのひまわりを彷彿とさせる八重ひまわり約100万本が約4haの広大な田畑に咲き誇ります。初秋の広い青空と緑や紫に表情を変える筑波山を背景に、濃い黄色のひまわり畑が一面に広がる様子はまさに絶景です。また、花の中心までびっしり花びらで覆われている八重ひまわりを持ち帰ることができる「切り花園」（有料）も開設されます。

例年、フェスティバル開催中には、10万人を超える多くの観光客がひまわり畑を楽しんでいます。最近では、メディアに取り上げられる機会が増えたこともあり、ますます人気の観光スポットとなっています。

- ・開催時期：8月最終土曜日から9日間
- ・開催場所：筑西市宮山地区
(住所：茨城県筑西市宮山504番地付近)
(開催地が定期的に変更)

○ アクセス

(公共交通機関) JR水戸線 下館駅からタクシーで20分／関東鉄道常総線 黒子駅からタクシーで20分
(自動車) 常磐道 土浦北ICから40分、谷和原ICから50分／北関東道 桜川筑西ICから20分／圏央道 常総ICから30分

○ 問合せ先

・筑西市観光振興課

☎ 0296-20-1160

○ 参考URL

<http://www.chikuseikanko.jp/>



「宮山ふるさとふれあい公園内のキャンプ場」



「常陸秋そば」

フェスティバルが開催される明野地区には、豊かな自然のなかでアウトドア体験ができる施設として「宮山ふるさとふれあい公園」があります。バーベキュー場、キャンプ場、ジャブジャブ池などがあり、様々な体験を楽しめます。また、この公園内にある「あけのアグリショップ」では、その日地元で採れた新鮮な野菜や果物の販売をしており、併設されているそば処では、筑西市のご当地グルメである常陸秋そばを楽しめます。

イベントタイプ：田んぼアート

一般参加：可



「2016年度の作品：栃木県のマスコットキャラクターとちまるくん」



「2019年度の作品」

田んぼと山の間にある櫓から見下ろすと「田畑アート」を見ることができます。

通常田んぼアートは4月～9月までと期限がありますが、1年中楽しめるようにと、4月～9月は田んぼアート、10月～11月は稲株アート、11月～3月は畑アートを行っています。

この田畑アートは中野氏個人で行っており、最初の作品は2011年に製作した栃木県のマスコットキャラクターのとちまるくんです。そこから継続は力なりと信じ続け、今年で11年目になります。

2021年は都道府県魅力度ランキング47位の栃木の魅力をアップさせるため、「47位だヨ！全員集合」をテーマに多数の栃木のキャラクターをモデルにした田んぼアートの作成や、JA等との連携の他、田んぼアートを見た方に一句読んでもらうなど、訪れた方と一緒に楽しめる方法を検討しています。「田畑アート」を通して、栃木の魅力や米の消費量アップにつなげられれば良いと考えておりますので、是非お立ち寄りください。

○ アクセス

(公共交通機関)

- ・第一会場：那須塩原駅よりゆ～バス西那須野線「上中野十文字」下車徒歩13分
- ・第二会場：那須塩原駅よりJRバス塩原本線「アグリパル塩原」下車徒歩2分(自動車)

- ・第一会場／駐車場有：西那須野塩原ICより約10分／黒磯板室ICより約13分
- ・第二会場／駐車場有：西那須野塩原ICより約10分

○ 問合せ先

- ・中野 登喜男 氏

☎ 090-2329-1762

・開催時期：

第一会場：1年中

第二会場：4月～9月

・開催季節

4月～9月：田んぼアート

10月～11月：稲株アート

11月～3月：畑アート

・開催場所：

第一会場：西遅沢地区

(住所：西遅沢279-1)

第二会場：関谷地区

(住所：関谷416-1)

・第一会場周辺では、カフェやパン屋でゆったり過ごしたり、千本松牧場で動物との触れ合いや温泉を楽しむことができます。

・第二会場周辺では、道の駅（湯の香塩原）で新鮮野菜の購入や新しく出来た「あぐりのかふえ」でデザートを楽しむことができます。また、もみじ谷大吊橋、竜化の滝の観光や、「湯っ歩の里」で温泉も楽しむことができます。

イベントタイプ：景観鑑賞

一般参加：可



「ホタルが舞う幻想的な光」



「ホタルの餌となるカワニナの放流」

棚田の再生事業に伴い、ホタル復活事業を行っています。

主に地元小学校児童に協力してもらい、餌となるカワニナを養殖し、2019年11月に放流しました。この活動によって、2020年夏にたくさんのホタルの飛翔を観ることができました。

2021年は更に整備をして、多くの方を受入れいたします。

また、希望者には来季へ向けてカワニナ養殖や放流会に参加する募集もいたします。

○ アクセス

（公共交通機関）上越新幹線「上毛高原」駅から車で15分

（自動車）沼田I.C.より車で約10分
 Googleマップにて「石墨棚田広場」で検索

○ 問合せ先

・薄根地域ふるさと創生推進協議会

☎ 080-7445-0734

○ 参考URL

<https://usunefurusato.com/ishizumi-fire-fly-access/>

- ・開催時期：6月20日～7月10日頃
 （環境により前後します）
- ・開催場所：群馬県沼田市石墨町575



「石墨棚田」

目の前に広がる戸神山（通称：三角山、標高771.6m）は、1時間ほどで登頂できるトレッキングの人気スポットです。頂上は360°のビューが広がり、周辺の山々が見渡せます。

イベントタイプ：田んぼアート

一般参加：可



「2019年度作品」※ギネス世界記録TMにも認定されている面積を誇る

- ・開催時期：7月中旬～11月中旬
(田植えイベント6月、稲刈り体験10月)
- ・開催場所：「古代蓮の里」東側の田んぼ
(古代蓮会館展望室より観覧)
(住所：埼玉県行田市小針2375-1)

○ アクセス

(公共交通機関) JR高崎線、行田駅から市内循環バス／秩父鉄道、行田市駅から市内循環バス
(自動車) 東北自動車道、羽生ICより25分、加須・栗橋ICより30分／関越自動車道、東松山ICより25分、花園ICより60分／駐車場あり

○ 問合せ先

・田んぼアート米づくり体験事業推進協議会
(事務局：行田市農政課)

☎ 048-556-1111 (内線386)

行田が誇る緑豊かな水田を舞台に、色彩の異なる複数の稲を使い文字や絵柄を描く事業です。約28,000㎡の面積は「最大の田んぼアート」としてギネス世界記録TMに認定されているほか、様々なコラボレーションデザインも注目を集めています。例年6月には、公募からなるボランティアと体験希望者による田植えを実施し、季節の移ろいとともに表情を変える田んぼアートを楽しみながら、10月に稲刈り体験を開催します。

また、稲刈り後には収穫した「彩のかがやき」を田植え・稲刈り参加者へプレゼントしています。「植えてよし・見てよし・刈ってよし・食べてよし」の田んぼアートで、水田やお米を身近に感じませんか。



「行田蓮」

観賞場所となる古代蓮の里は、約1,400年から3,000年前のものとされる行田蓮（古代蓮）をはじめとする42種類、約12万株の蓮が植えられており、6月中旬から8月中旬にかけて見頃を迎えます。その他、国の特別史跡にも指定された埼玉古墳群、「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」として認定された市街地の足袋蔵巡りもおすすめです。参照URL <https://www.gyoda-kankoukyoukai.jp/>

ホタルかがり火まつり

よこぜまち
【埼玉県横瀬町】

夏

イベントタイプ：
ライトアップ、コンサート

一般参加：可



「ホタルかがり火まつりの棚田」

県内最大級の棚田で一夜限りの幻想的な空間を創造
～ホタルと楽器の協演～

寺坂棚田に携わる方々が、より棚田を楽しむイベントとして平成19年から実施している「ホタルかがり火まつり」。あぜ道に灯された約600個のかがり火が作り出すその美しい棚田の景観は格別です。当日は棚田内でコンサートも開催され、訪れた方の目も耳も楽しませています。運が良ければホタルにも出会えるかも…？

都会では味わうことができない一夜限りの幻想空間をご堪能ください。

- ・開催時期：7月上旬
 - ・開催場所：寺坂棚田
- (住所：埼玉県秩父郡横瀬町横瀬1868)



「コンサート風景」

○ アクセス

(公共交通機関)

西武秩父線 横瀬駅下車 徒歩15分／秩父鉄道 御花畑駅下車 徒歩40分

(自動車)

秩父市市街地から車で約10分／寺坂棚田南側駐車場 (20台程度駐車可能)

○ 問合せ先

・一般社団法人 横瀬町観光協会

☎ 0494-25-0450

○ 参考URL：http://www.yokoze.org/



「寺坂棚田と武甲山」

寺坂棚田の目の前にそびえ立つ武甲山は人気の登山スポット。道の駅果樹公園あしがくぼには地産野菜や特産品が揃い、夏の間は河原でのバーベキューも楽しめます。遊んだ後は秩父湯元 武甲温泉や丸山鉱泉旅館などの温泉でひと休み。毎年春には羊山公園で一面に咲く芝桜を楽しむ事もでき、多くの観光客で賑わいます。

イベントタイプ：
花木等鑑賞、コンサート

一般参加：可



「農村の風景と畦に咲く彼岸花」



「演奏会風景」

県内最大級の棚田で里山の風景を感じる
～黄金の稲穂と彼岸花～

およそ200万球の彼岸花が咲き誇るシーズンに開催されている「彼岸花まつり」では、横瀬町のシンボル武甲山と黄金に輝く稲穂、畦に咲く真っ赤な彼岸花など里山風景を贅沢に満喫でき、また、棚田内での演奏会も楽しめます。懐かしい風景が広がる里山で、のんびりと初秋のひとときをお過ごしください。

- ・開催時期：9月下旬
- ・開催場所：寺坂棚田
(住所：埼玉県秩父郡横瀬町横瀬1868)

○ アクセス

(公共交通機関) 西武秩父線 横瀬駅下車 徒歩15分／秩父鉄道 御花畑駅下車 徒歩40分

(自動車) 秩父市市街地から車で約10分／寺坂棚田南側駐車場(20台程度駐車可能)

○ 問合せ先

・一般社団法人 横瀬町観光協会

☎ 0494-25-0450

○ 参考URL：http://www.yokoze.org/



「彼岸花まつりの様子」

フルーツ王国でもある横瀬町の観光農園では、8月上旬～10月中旬までブドウ狩りが楽しめます。棚田の目の前にそびえ立つ武甲山をはじめ、日向山、丸山などでの登山やハイキング、キャンプなども人気のアクティビティです。道の駅果樹公園あしがくぼで地産野菜や特産品の購入、秩父湯元 武甲温泉、丸山鉱泉旅館などの温泉もおすすめです。毎年冬には「あしがくぼの氷柱」も開催され、多くの観光客で賑わいます。

イベントタイプ：ライトアップ

一般参加：可



「田んぼの水面に反射する竹あかり」

○ アクセス

（公共交通機関）西武秩父駅から西武観光バス「栗尾」行に乗車し「栗尾」下車徒歩約10分／西武秩父駅から西武観光バス「小鹿野車庫」行に乗車し「小鹿野町役場」で下車し、西武観光バス「坂本」行に乗り換え「飯田八幡下車」徒歩約5分

（自動車）

花園ICから有料道路を使用し約70分
会場付近の臨時駐車場（三田川小学校グラウンドを予定）へ駐車し徒歩数分

○ 問合せ先

・小鹿野町観光協会

☎ 0494-79-1100

切り出した竹に電動ドリルやジグソーを用いて様々なデザインの模様を開け、ろうそくやLEDライトを用いてあかりを灯す灯籠「竹あかり」を4月下旬または5月上旬に飯田八幡神社周辺の飯田地区の田んぼに飾りつけます。

このイベントは2019年から実施されており訪れるお客様を楽しませています。

竹あかりから浮かびあがる幻想的な光とともに水を張った田んぼの水面に光が反射し映し出され、地面に設置される竹あかりとはまた違った雰囲気味わえます。

・開催時期：4月下旬または5月上旬

・開催場所：小鹿野町飯田地区

（飯田八幡神社付近の田んぼ）

（住所：小鹿野町飯田2756（飯田八幡神社）付近）



「岩殿沢地区のハナモモ」

4月には光西寺で咲き誇るしだれ桜が、岩殿沢地区では紅白のハナモモが楽しめるほか、12月には秩父地方一年の締めくくりとなる鉄砲まつりが行われ、参道の両脇から銃火の中、2頭の御神馬が社殿に向かい一気に駆け上がる「お立ち神事」があります。

また、国の天然記念物に指定されている「犬木の不整合」では、約1,700万年前から約1,500万年前に秩父盆地内に存在した2つの海が会える場所となる地層を見ることができます。

イベントタイプ：花木等鑑賞

一般参加：可



「一面のコスモス畑」

○ アクセス

（公共交通機関）ＪＲ外房線／茂原駅東口前・新茂原駅前より茂原市民バス東部コースで「北塚」下車
または本納駅より小湊鐵道バス白子車庫行で「西野団地」下車

（自動車）圏央道茂原北ＩＣから白子方面へ約10分、
ＪＲ外房線本納駅から白子方面へ約5分、割烹てまり手前農道入る（案内看板あり）※無料駐車場あり

○ 問合せ先

・七渡農地水環境保全会

☎ 0475-20-1526

（茂原市役所 経済環境部 農政課）

多面的機能支払交付金の活動組織・七渡農地水環境保全会では区域内の休耕田を活用したコスモスの植栽活動を行っており、農地を活用した景観形成に取り組んでいます。コスモス畑では秋になると約10万本のコスモスが咲き誇り、訪れた方は自由に摘み取っていただくことができます。

毎年10月に開催している七渡コスモスフェスタでは、コスモス畑周辺の会場で芋掘りや落花生掘り等の体験、茂原太鼓やよさこいソーラン等のステージイベントを実施し、臨時駐車場が満車になるほど、大勢の来場者で賑わっています。

・開催時期：10月頃

・開催場所：茂原市七渡地区

（住所：茂原市七渡2769付近）



「龍鑑寺」

龍鑑寺（七渡2026）は大同2（807）年、空海の開基と伝えられ、初め真言宗の名刹であったが、土気城主酒井定隆が行った上総七里法華により日蓮宗に改宗。
七渡地区南側の本小轡地区周辺には、第二次世界大戦中に戦闘機を隠すために造られた掩体壕が10基残存しており、国内でも貴重な戦争遺跡となっている。
これらは茂原市の景観資源52か所に選ばれている。

「はむら花と水のまつり（後期）」 チューリップまつり【東京都羽村市】

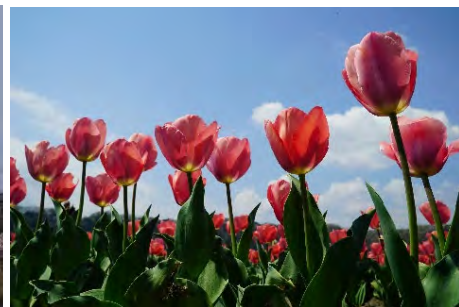
春

イベントタイプ：花木等鑑賞

一般参加：可



「一面のチューリップ畑」



「植付の様子」

- アクセス
(公共交通機関) JR羽村駅→徒歩20分
(自動車) 圏央道青梅ICから約6km15分
- 問合せ先
・はむら花と水のまつり実行委員会
- ☎ 042-555-9667 (羽村市観光協会)
- 参考URL: <http://hamura-kankou.org/>

玉川上水の羽村堰から多摩川沿いを上流に5分ほど歩くと、市内唯一の水田「根がらみ前水田」があり、地域の子ども、農家、チューリップオーナー、ボランティアの協力により、水稻裏作を利用して、約35万球ものチューリップ球根を植栽しています。

広大な水田には色とりどりのチューリップが咲き、関東で最大級を誇るチューリップ畑となります。例年、約8万人の方々にご来場いただき、一面に広がったチューリップの美しさをお楽しみいただいております。

- ・開催時期：4月上旬～中旬
- ・開催場所：羽村市羽中4丁目・
羽加美4丁目（根がらみ前水田）



「玉川上水沿いのさくら」

「はむら花と水のまつり」の前期（3月下旬～4月上旬）では、玉川上水沿い・羽村堰周辺を中心に約200本の桜が咲く中で、「さくらまつり」が開催されています。夜にはライトアップされた幻想的な夜桜を楽しむこともできます。

前期・後期を通じて、観光土産品の販売や模擬店の出店もあります。

その他、同時期に羽村市動物公園の無料開園や日野自動車株式会社羽村工場のさくらまつりも開催されます。※「はむら花と水のまつり2021」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、模擬店の出店やライトアップは行いません。